



2025年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月15日

上場会社名 株式会社ブシロード 上場取引所 東
コード番号 7803 URL <https://bushiroad.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木谷 高明
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務本部長 (氏名) 村岡 敏行 TEL 03 (4500) 4350
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第3四半期の連結業績（2024年7月1日～2025年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第3四半期	39,371	19.8	2,879	—	2,899	343.8	1,694	—
2024年6月期第3四半期	32,858	△6.5	70	△96.5	653	△75.7	△25	—

(注) 包括利益 2025年6月期第3四半期 1,635百万円 (324.9%) 2024年6月期第3四半期 384百万円 (△62.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第3四半期	24.64	24.49
2024年6月期第3四半期	△0.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期第3四半期	48,359	23,652	46.1
2024年6月期	50,605	23,271	43.7

(参考) 自己資本 2025年6月期第3四半期 22,278百万円 2024年6月期 22,116百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	4.50	4.50
2025年6月期	—	0.00	—		
2025年6月期（予想）				4.50	4.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年6月期の連結業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,500	15.6	4,150	370.2	4,150	118.6	2,490	209.4	36.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2025年5月15日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年6月期3Q	71,496,550株	2024年6月期	71,428,550株
② 期末自己株式数	2025年6月期3Q	3,796,467株	2024年6月期	1,296,466株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年6月期3Q	68,768,592株	2024年6月期3Q	70,714,510株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：有 (任意)

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算説明内容の入手方法)

2025年5月20日 (火) 15時30分以降、当社ウェブサイトにて動画配信する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(1株当たり情報の注記)	12

[期中レビュー報告書]

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、社会・経済活動の持ち直しの傾向が続いている一方、社会情勢の変化、継続的な物価の上昇や為替の変動による影響等によって、依然として先行きが不透明な状況が続きました。

このような環境の中、当社グループは2025年1月に「ブシロード新春大発表会 2025」を開催し、2025年における各コンテンツの展開をお客様に発表いたしました。また、引き続き「IPディベロッパー」戦略のもと、TCG（トレーディングカードゲーム）を柱としたグローバル展開を推進してまいりました。2025年2月に台北で「Bushiroad EXPO 2025」を開催し、多くのお客様とディストリビューターにご来場いただきました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高39,371,759千円（前年同四半期比19.8%増）、営業利益2,879,041千円（前年同四半期は営業利益70,895千円）、経常利益2,899,368千円（同343.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,694,148千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失25,488千円）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。なお、セグメント売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

なお、第1四半期連結会計期間より、「エンターテインメント事業」内のユニット名称の変更、区分の再構築をしております。「デジタルコンテンツユニット」を「コンテンツユニット」へと変更し、「BI (Bushiroad International) ユニット」を廃止、重複して属していた「TCGユニット」・「コンテンツユニット」へ報告内容をそれぞれ統合しました。なお、この変更はセグメント内のユニット構成の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

1. エンターテインメント事業

①TCG（トレーディングカードゲーム）ユニット

2025年2月に新TCG「ラブライブ！シリーズ オフィシャルカードゲーム」の日本語版と簡体字版を同時発売し、順調な初動となりました。また、既存TCGの「ヴァイスシュヴァルツ」「カードファイト!! ヴァンガード」も順調に推移しております。「ヴァイスシュヴァルツ」英語版では「GODDESS OF VICTORY: NIKKE（勝利の女神：NIKKE）」が売上を牽引しました。

②コンテンツユニット

モバイルゲーム「バンドリ！ ガールズバンドパーティ！」が8周年を迎え、日本語版・簡体字版ともに好調に推移しました。コンソールゲームは「カードファイト!! ヴァンガード ディアデイズ2」「ダンジョンに出会いを求めるのは間違っているだろうか 水と光のフルランド」の2作品を発売いたしました。

③ライブエンタメユニット

大規模ライブの端境期となったため、減収となったものの、バンドリ！プロジェクトを中心に引き続き順調に推移しました。

④MD（マーチャンダイジング）ユニット

一般MD商品の中国への輸出が落ち着いたものの、物販催事等、各事業で計画を上回り順調に推移しました。

また、ミニクレーン機向け新ブランド「たいにいぎふと」が好調な初動となりました。

⑤アドユニット

アドユニットは、引き続きアニメ委員会への出資・参画や自社イベント運営・制作などを通じて、グループ事業全体の規模拡大に貢献しております。

これらの結果、エンターテインメント事業は、売上高34,747,381千円（前年同四半期比24.1%増）、セグメント利益2,810,635千円（前年同四半期はセグメント損失306,660千円）となりました。

2. スポーツ事業

新日本プロレスリング(株)は東京ドームにて興行を2日連続で開催し、増収となったものの利益貢献は限定的であり、軟調に推移しました。(株)スターダムは動員が緩やかに回復基調であり、選手のTV出演のほか、初の沖縄大会を開催するなど全国区へファン拡大に注力しました。

これらの結果、スポーツ事業は、売上高4,624,377千円（前年同四半期比5.0%減）、セグメント利益68,406千円（同81.9%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は48,359,172千円となり、前連結会計年度末に比べ2,246,384千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が565,246千円、売掛金が525,082千円、その他流動資産が523,535千円減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は24,706,833千円となり、前連結会計年度末に比べ2,626,769千円減少いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が1,389,909千円、未払金が854,315千円、社債が550,000千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は23,652,338千円となり、前連結会計年度末に比べ380,385千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が1,694,148千円増加した一方で、自己株式の取得により自己株式が989,836千円増加、配当金の支払により利益剰余金が315,594千円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結会計期間は、第2四半期連結会計期間に引き続きエンターテインメント事業が順調に推移し、全体の業績を牽引いたしました。

TCGユニットは、新TCGとして2月に「ラブライブ！シリーズ オフィシャルカードゲーム」を、4月に「ヴァイスシュヴァルツロゼ」を発売し、既存TCGとともに順調に推移しております。

ライブエンタメユニットにおいては第3四半期連結会計期間は大規模ライブ端境期で減収となったものの、4月26日・27日にMyGO!!!!×Ave Mujica 合同ライブ「わかれ道の、その先へ」を開催、バンドリ！プロジェクトとして過去最大規模の公演となりました。また、今後の各バンドの公演やリリースに関する新情報も公開となりました。

MDユニットは第3四半期連結会計期間においては一般MD商品の中国への輸出が落ち着いたものの、物販催事等、各事業で計画を上回る結果となっております。

2025年6月期の連結業績予想につきましては、売上高は53,500,000千円（前年同期比15.6%増）、営業利益は4,150,000千円（同370.2%増）、経常利益は4,150,000千円（同118.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は2,490,000千円（同209.4%増）を予想しております。

(注)業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,807,131	25,241,885
売掛金	6,748,484	6,223,401
商品及び製品	1,619,261	1,537,355
仕掛品	2,335,946	2,282,092
貯蔵品	48,654	63,799
その他	3,159,492	2,635,957
貸倒引当金	△18,215	△19,446
流動資産合計	39,700,755	37,965,046
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,184,211	1,141,061
機械及び装置(純額)	1,097,217	1,041,191
工具、器具及び備品(純額)	121,900	109,538
車両運搬具(純額)	28,957	19,783
土地	1,027,220	1,027,220
リース資産(純額)	27,108	24,054
その他(純額)	108,021	36,416
有形固定資産合計	3,594,636	3,399,265
無形固定資産		
ソフトウェア	200,587	194,959
ソフトウェア仮勘定	37,693	10,230
のれん	421	—
その他	104,789	76,745
無形固定資産合計	343,492	281,935
投資その他の資産		
投資有価証券	5,316,306	5,008,061
長期貸付金	107,130	226,313
繰延税金資産	939,679	1,001,229
その他	625,666	572,540
貸倒引当金	△27,575	△96,834
投資その他の資産合計	6,961,207	6,711,311
固定資産合計	10,899,337	10,392,512
繰延資産		
株式交付費	5,463	1,613
繰延資産合計	5,463	1,613
資産合計	50,605,556	48,359,172

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,929,105	6,299,046
未払金	2,256,203	1,401,887
未払法人税等	601,999	829,008
1年内返済予定の長期借入金	5,332,572	3,942,663
1年内償還予定の社債	700,000	700,000
賞与引当金	116,291	264,166
その他	2,865,407	2,574,059
流動負債合計	17,801,580	16,010,832
固定負債		
長期借入金	7,215,095	6,866,554
社債	2,050,000	1,500,000
役員退職慰労引当金	77,352	90,615
退職給付に係る負債	133,874	144,008
繰延税金負債	2,541	69,174
その他	53,159	25,649
固定負債合計	9,532,023	8,696,001
負債合計	27,333,603	24,706,833
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,773,757	5,778,717
資本剰余金	5,710,527	5,715,487
利益剰余金	9,826,715	11,140,236
自己株式	△568,751	△1,558,588
株主資本合計	20,742,249	21,075,852
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△126,218	△56,744
為替換算調整勘定	1,500,487	1,258,918
その他の包括利益累計額合計	1,374,269	1,202,173
新株予約権	286,060	391,430
非支配株主持分	869,373	982,881
純資産合計	23,271,952	23,652,338
負債純資産合計	50,605,556	48,359,172

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
売上高	32,858,767	39,371,759
売上原価	22,147,071	25,818,596
売上総利益	10,711,695	13,553,162
販売費及び一般管理費	10,640,800	10,674,121
営業利益	70,895	2,879,041
営業外収益		
受取利息及び配当金	260,467	356,931
持分法による投資利益	38,710	121,755
為替差益	165,413	—
助成金収入	183,773	20,384
その他	12,974	19,180
営業外収益合計	661,338	518,251
営業外費用		
支払利息及び社債利息	57,725	88,124
為替差損	—	399,461
社債発行費	9,192	—
その他	11,982	10,338
営業外費用合計	78,900	497,924
経常利益	653,333	2,899,368
特別利益		
関係会社株式売却益	—	165,995
特別利益合計	—	165,995
特別損失		
投資有価証券評価損	49,999	190,832
特別損失合計	49,999	190,832
税金等調整前四半期純利益	603,333	2,874,531
法人税等	555,403	1,073,903
四半期純利益	47,929	1,800,627
非支配株主に帰属する四半期純利益	73,418	106,479
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△25,488	1,694,148

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	47,929	1,800,627
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	131,501	69,474
為替換算調整勘定	230,111	△215,575
持分法適用会社に対する持分相当額	△24,573	△18,965
その他の包括利益合計	337,039	△165,066
四半期包括利益	384,969	1,635,560
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	311,131	1,522,053
非支配株主に係る四半期包括利益	73,838	113,507

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日）、「包括利益の表示に関する会計基準」（企業会計基準第25号 2022年10月28日）及び、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日）を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年7月1日至2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	エンターテインメント事業	スポーツ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,988,656	4,870,110	32,858,767	—	32,858,767
セグメント間の内部売上高又は振替高	19,152	138,478	157,631	△157,631	—
計	28,007,808	5,008,589	33,016,398	△157,631	32,858,767
セグメント利益又は損失(△)	△306,660	377,555	70,895	—	70,895

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年7月1日至2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	エンターテインメント事業	スポーツ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	34,747,381	4,624,377	39,371,759	—	39,371,759
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,937	83,805	96,743	△96,743	—
計	34,760,319	4,708,183	39,468,503	△96,743	39,371,759
セグメント利益	2,810,635	68,406	2,879,041	—	2,879,041

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年9月26日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,500,000株の取得を行いました。この結果、単元未満株式の買取りも含めて、当第3四半期連結累計期間において自己株式が989,836千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,558,588千円となっております。

なお、当該決議に基づく自己株式の取得につきましては、2025年2月28日をもって終了しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	520,369千円	493,072千円
のれんの償却額	759	421

(1株当たり情報の注記)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失 (△)	△0円36銭	24円64銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 (△) (千円)	△25,488	1,694,148
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 (△) (千円)	△25,488	1,694,148
普通株式の期中平均株式数 (株)	70,714,510	68,768,592
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	—	24円49銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額	—	—
普通株式増加数 (株)	—	413,989
(うち新株予約権)	(—)	(413,989)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書

2025年5月15日

株式会社ブシロード

取締役会 御中

PwC Japan有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 鈴木 直幸
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 村田 賢士
業務執行社員

監査人の結論

当監査法人は、四半期決算短信の「添付資料」に掲げられている株式会社ブシロードの2024年7月1日から2025年6月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2025年1月1日から2025年3月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2024年7月1日から2025年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について期中レビューを行った。

当監査法人が実施した期中レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に準拠して期中レビューを行った。期中レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して四半期連結財務諸表を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した期中レビューに基づいて、期中レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に従って、期中レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の期中レビュー手

続を実施する。期中レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、期中レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、期中レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論表明の基礎となる、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の期中レビューに関する指揮、監督及び査閲に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した期中レビューの範囲とその実施時期、期中レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記の期中レビュー報告書の原本は当社（四半期決算短信開示会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータ及びHTMLデータは期中レビューの対象には含まれていません。